

大学院教員を校内研修会や地域の研修会で 無料でご活用ください！

弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻〈教職大学院〉

この活動について

本教職大学院の現職教員院生（ミドルリーダー養成コース）を、**実習の一環（実習ⅡA）として、大学院教員が講師・助言者を務める県内の校内研修会や地域の研修会等に帯同・参加させる場合は、教職大学院教員の講師料・旅費等は無料**となります。

なお、これらの研修会は、原則として**火曜日又は木曜日に設定**してください。詳細については、以下をお読みください。

（活動内容例）

1 学校又は教育関連施設での研修会への参加（企画・運営）

（1）学校の研修会へ参加

- 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校内研修会
- 教育委員会事業指定校での研修会

（2）教育関連施設における研修会・研修講座への参加（企画・運営）

- 教育研修センター等での研修講座

2 研修会等の具体例

（1）学校の研究授業・授業研究協議会

- 学校の研究主題や研究仮説を踏まえた大学院教員による研究授業
- 具体的な研究内容やその達成目標及び検証の指標を基にした授業研究協議会
- 健康教育・性に関する指導等の校内研修での講話やワークショップ型の研修

（2）事例研究（ケーススタディ）

- 事例をもとにしたグループや全体の討議による問題点の究明や解決策の考案
- 不登校等の課題解決における事例検討及び助言

（3）教育関連施設の研修会・研修講座等（これまでの実績から）

- 中堅教諭等資質向上研修（前期）特支学校共通講座（2022 県総合学校教育センター）
- 中堅教諭等資質向上研修（後期）選択講座（2022 弘前大学教育学部）
- 青森市中堅研・選択講座（特支コーディネーター講座）（2022 青森市教育研修センター）
- 八戸市経営力・教師力アップ研修講座（2022 八戸市総合教育センター）
- 弘前市算数・数学研修講座（2022 弘前市教育センター）
- 平川市教師力向上講座（2022 平川市生涯学習センター）
- 五所川原市研究指定校公開授業（2022 五所川原市立市浦小学校）

（4）研究団体の研修会

- 小学校や中学校等の教育研究会主催の研修会
- 教職以外の専門職や外部機関との連携・協働を進めている研修会

☆大学院教員派遣（実習ⅡA）の申し込み方法

：インターネットの「弘前大学大学院教育学研究科」HPにある、「講師派遣（実習ⅡA）申込み票」に必要事項を記入し、下記担当者へFAX又はメールで送信してください。問い合わせもどうぞ。



弘前大学

弘前大学教職大学院 実習ⅡA担当：中谷 保美
〒036-8560 弘前市文京町1
TEL&FAX: 0172-39-3412（直通）
E-mail: nky843@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学教職大学院担当可能研修会等一覧 2023年4月5日現在

	教育センター等での研修会	校内研修会
中野博之	対象…小学校教員 ○算数科に関する講演及び演習	対象…小学校教員 ○算数の授業研究会での助言 ○校内研修会での算数科に関する講演
	対象…小学校・中学校教員 ○校内研修会の在り方に関する講演 ○新学習指導要領・全国学力テストから考える授業の在り方(講演)	対象…小学校・中学校教員 ○校内研修会の在り方に関する講演 ○新学習指導要領・全国学力テストから考える授業の在り方(講演)
若松大輔	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○パフォーマンス課題とルーブリックに関する講演・ワークショップ ○近年の動向を踏まえた授業づくりに関する講演・ワークショップ	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○パフォーマンス課題とルーブリックに関する講演・ワークショップ ○近年の動向を踏まえた授業づくりに関する講演・ワークショップ
小林央美	対象…養護教諭 ○養護教諭の研修での講義・演習 ○養護教諭の活動に関することについて	対象…小学校・中学校教員 ○学校における健康教育・性に関する指導やLGBT・子どもの権利・新型コロナウイルス対応等の講話やワークショップ型の研修 ○不登校等の課題解決における事例検討への助言 ○「チーム学校としての教育課題の解決」や「養護実践(養護教諭の実践)」に関する研修
	対象…養護教諭・保健主事など ○学校保健・学校安全に関する研修会での講義・演習	
吉田美穂	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○ヤングケアラーや貧困など困難を抱える児童生徒への対応に関する講義・演習 ○日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する講義・演習	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○ヤングケアラーや貧困など、困難を抱える児童生徒への対応に関する講義・演習 ○日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する講義・演習
	対象…小・中・高等学校校長・教頭 ○ヤングケアラー、貧困、日本語指導など、支援を要する児童生徒対応のための組織マネジメントと外部連携(講義・演習)	
藤江玲子	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○支援スキル向上のためのワークショップ(ヘルピング・スキル、社会的問題解決) ○予防的教育・心の健康教育に関する講義と演習(ストレス・マネジメント、ネット・ゲーム依存の理解と予防等) ○生徒指導上の諸課題に関する講義と事例検討(不登校・中途退学・きれやすい子ども・自殺等)	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○支援スキル向上のためのワークショップ(ヘルピング・スキル、社会的問題解決) ○予防的教育・心の健康教育に関する講義と演習(ストレス・マネジメント、ネット・ゲーム依存の理解と予防等) ○生徒指導上の諸課題に関する講義と事例検討(不登校・中途退学・きれやすい子ども・自殺等)
森本洋介	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○アクティブラーニングに関する講演・ワークショップ ○メディア・リテラシー教育、批判的思考力の育成に関する講演・ワークショップ	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○アクティブラーニングに関する講演・ワークショップ ○メディア・リテラシー教育、批判的思考力の育成に関する講演・ワークショップ
菊地一文	対象…小・中・高・特別支援学校の教員等 ○特別な教育的ニーズのある児童生徒のキャリア発達支援、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業実践及び教育課程等に関する研修 ○特別な教育的ニーズへの対応に向けた連携・協働及び組織的取組の促進に関する研修	対象…特別支援学校及び小・中・高校の教員等 ○特別な教育的ニーズのある児童生徒のキャリア発達支援、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業実践及び教育課程等に関する研修 ○各教科等における授業研究会の助言等 ○校内支援体制の整備等に関する助言等
宍倉慎次	対象…高等学校教員 ○効果的なカリキュラム・マネジメントによる高校教育の改善に関する講演・ワークショップ 対象…小学校・中学校・高等学校教頭・校長 ○円滑な学校経営のための講演・ワークショップ	対象…高等学校教員 ○効果的なカリキュラム・マネジメントによる高校教育の改善に関する講演・ワークショップ ○英語科の授業研究会での講演・助言

甲田隆	対象…小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員 ○特別の支援を必要とする児童生徒の進路を含めた生涯学習に関する講演・演習 ○特別の支援を必要とする児童生徒の教育相談及び進路相談に関する講演・演習	対象…小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員 ○特別の支援を必要とする児童生徒の理解と指導及び支援体制に関する講演・助言 ○特別の支援を必要とする児童生徒の学習保障及び保護者支援に関する講演・助言
三戸延聖	対象…小・中・高等学校校長・教頭 ○学校経営と課題解決に向けた組織力の向上に関する講演 ○学校と行政をつなぐ指導主事等とのワークショップ	対象…小・中・高等学校教員 ○学校のリスク管理とクライシス対応に関する講演 ○校内活性化と地域と家庭との連携に関する講演 ○国語科の授業研究会での講演・助言 ○総合的な探究の時間等に関する講演・助言
中谷保美	対象…小学校教員 ○社会科教育に関する講義・演習 ○学校の危機管理に関する講義・演習	対象…小学校教員 ○社会科の授業研究会での助言 ○校内研修会での社会科に関する講話
天坂文隆	対象…中学校教員 ○数学科教育に関する講義・演習 ○学校の危機管理に関する講演・演習	対象…中学校教員 ○数学科の授業研究会での助言 ○校内研修会での数学科における講演
柴崎剛吉	対象…高等学校教員 ○学級経営・学年経営における生徒指導に関する講演・演習 ----- 対象…新採用・中堅教諭等 ○新規採用者及び中堅教諭としての心構え等に関する講演・演習	対象…高等学校教員 ○学級経営・学年経営における生徒指導に関する講演 ○部活動指導における生徒指導に関する講演
村元治	対象…小学校教員 ○外国につながる子どもの受入れに関する講義	対象…小学校教員 ○外国につながる子どもの受入れに関する講義 ○インクルーシブ教育に関する講義
桐村豪文	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○教育政策の動向に関する講義・演習 ○教育法規に関する講義・演習 ○教育とエビデンス（統計解析等）に関する講義・演習	対象…小学校・中学校・高等学校教員 ○教育法規に関する講義・演習 ○学習する組織のつくり方に関する講演・ワークショップ
備考	<p>◆研修会・協議会・講演等で、院生にさせてほしいこと（可能な範囲で結構です）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場準備、受付 ・研究授業の参観、研究協議会への参加 ・演習の補助 ・ファシリテーター ・グループ協議の発表者 等 <p>◆研修会・協議会・講演等の設定は、火曜日又は木曜日をお願いします（原則として、月・水・金曜日には、大学院での授業があるため）。</p> <p>※なお、火・木曜日以外でも実施可能な場合もありますので、ご相談ください。</p>	

【実習ⅡAとして講師派遣できない火曜日及び木曜日】

下記月日は、火曜日又は木曜日であっても、大学院のカリキュラムの都合上、実習ⅡAとして大学院教員を講師派遣できない月日です（令和5年4月1日現在）。

前 期	後 期
4～5月 … 全日	10月 … 3・24・26日
6月 … 1・6・8・15・20・22日	11月 … 2日
7月 … 11・18・25日	12月 … (なし)
8月 … 9日	1月 … 9日
9月 … 26日	2～3月 … 全日

※ 院生帯同なし（実習ⅡA扱いとしない）の場合は、講師料・旅費がかかりますが、曜日にこだわらず、期日を設定できる場合もあります。ご相談ください。

弘前大学教職大学院の実習の概要

【ミドルリーダー養成コース】

実習科目	【実習名】・日数・実習先	実習内容
令和5年度1年次院生8名…小学校教諭2名、中学校教諭3名、高校教諭2名、特別支援学校教諭1名		
○実習ⅠA-1 (課題把握) ・1年次前期	【附属学校園等観察実習】 5日 附属学校園 県立高等学校 【教育関連施設観察実習】 5日 青森県教育庁 青森県総合学校教育センター 青森県総合社会教育センター 青森県立梵珠少年自然の家 弘前市教育委員会 【公開研参加実習】 2日以上 附属学校園(公開研究会) 【勤務校実習】 3日以上 院生の勤務校	○連携協力校の授業や活動の参観・観察を通して、事実の収集の仕方、課題の明確化と把握の仕方を知る。 ○教育関連施設の業務や現職教員研修会がどのような意図を持って企画・実施され、その成果がどのように省察されているかを確認する。 ○連携協力校の公開研究会観察を通して、事実の収集の仕方、課題の明確化と把握の仕方を知る。 ○勤務校での授業や活動を通して、事実を収集し、課題を明確にする。
○実習ⅠA-2 (課題把握) ・1年次前期	【授業実践省察実習】 3日以上 附属学校 【メンター実習】 3日以上 弘前市立小・中学校、附属支援学校、県立高等学校	○ミドルリーダー養成コースの院生同士による授業実践省察実習を行い、授業研究を経験するとともに、教育+実践についての課題を把握し、校内研修会の在り方について考察する。 ○学部卒院生に対するメンター実習を行い、ミドルリーダーとしての在り方について考察する。
○実習ⅡA (仮説形成) ・1年次後期	【研修会等参加実習】 90時間以上 ・依頼を受けた、青森県内各小・中学校・高等学校・特別支援学校 ・依頼を受けた教育関連施設	○学校の校内研修会等へ参加する。 ○研修会主催者の視点を持ち、教育関連施設の研修会への参加を通して、教育現場の抱える課題を把握し、その課題解決のための仮説を形成することができるようにする。
令和5年度2年次院生8名…小学校教諭1名、中学校教諭4名、高校教諭2名、特別支援学校教諭1名		
○実習ⅢA (課題検証) ・2年次通年	【勤務校実践実習】 10日以上 院生の勤務校	○勤務校が抱える課題の解決のために、1年次に形成した仮説をもとに研修会等の企画運営、実践結果の省察を通し改善を行い、その成果を発表する。

【学校教育実践コース・教科領域実践コース・特別支援教育実践コース】

実習科目	【実習名】・日数・実習先	実習内容
令和5年度1年次院生8名(志望先:小学校1名、中学校3名、高校2名、特支校1名、養護教諭1名)		
○実習ⅠB-1 (課題把握) ・1年次前期	【観察実習】 5日 (連携協力校) 附属学校園、県立高等学校	○連携協力校を観察した事実を省察し、幼児児童生徒の事実の収集の仕方や授業の分析の仕方を身に付け、自らの研究課題の把握の方法を学ぶ。
○実習ⅠB-2 (課題把握) ・1年次前期	【フィールド実習】 5日以上 【集中実習】 5日以上 (連携協力校) 弘前市立小・中学校、附属学校、県立高等学校	○教師としての使命感・自覚を身に付けるとともに、自ら児童生徒との関わり方や授業についての分析力を身に付け、自らの真の研究課題を児童生徒の事実や自らの実践を省察することを通して、実践的に発見する。 ○実践授業…4時間以上(集中実習時)
○実習ⅡB (仮説形成) ・1年次後期	【フィールド実習】 12日以上 (連携協力校) 弘前市立小・中学校、附属学校、県立高等学校	○実習Ⅰの成果と自ら設定した研究課題をもとに、学校フィールド実習を通して、把握した研究課題の解決のための仮説を形成し、実践することに重点を置く。 ○実践授業…6時間以上
令和5年度2年次院生10名(志望先:小学校4名、中学校4名、高校1名、養護教諭1名)		
○実習ⅢB (課題解決研究) ・2年次前期	【フィールド実習】 7日以上 【集中実習】 10日以上 (連携協力校) 弘前市立小・中学校、附属学校、県立高等学校	○1年次の実習を基盤にしなが、学校フィールド実習及び集中実習を通して、自らの研究課題解決に向けて実践・省察を行い、仮説の修正・改善策を考察する。また、新たな課題を見つける等研究的な手法を用いた研究課題解決のサイクルを繰り返す。 ○実践授業…フィールド実習時4時間以上、集中実習時10時間以上
○実習ⅣB (課題解決検証) ・2年次後期	【フィールド実習】 12日以上 (連携協力校) 弘前市立小・中学校、附属学校、県立高等学校	○学校フィールド実習を行いながら、自分で設定した課題解決のための取り組みを省察し、検証しつつ改善を行い、成果をまとめ、発表する。 ○実践授業…6時間以上

※上記の実習科目には、それぞれ特別支援教育に関する実習がある。